建築研究所ニュース

令和８年１月６日

第２回シンポジウム「ここちよさを伝える新しいものさしを考えよう」の開催
～室内環境の良さを伝える指標作成に向けた意見交換会～

建築研究所環境研究グループは、住宅・小規模非住宅建築物の室内環境を分かりやすく評価する新たな指標の検討を目的とした第２回シンポジウム「ここちよさを伝える新しいものさしを考えよう」をオンラインにて開催します。

令和７年４月より省エネ基準適合が全面義務化され、エネルギー性能に関する指標として、一次エネルギー消費量やBEI、外皮性能としてはU_A値やη_A値、表示制度としてはZEHやBELSなど、様々な性能指標が整備されてきました。一方、温熱環境、光・視環境といった室内環境の良さや、土地や相隣条件が与える影響については、依然として住まい手にとって分かりやすい評価軸が不足しています。

本シンポジウムでは、室内環境の研究や住宅設計の第一線で活躍する専門家を招き、今、現場で求められている「ここちよさの指標」とは何か、良質な室内環境をどのように分かりやすく伝えるかについて、講演およびパネルディスカッションを通じて議論を深めます。

皆様の考える「ここちよさの指標」について、ぜひご意見をお寄せください。

１．開催の背景

当研究所では令和７年度より、研究課題「相隣環境を考慮した良質な室内環境の設計に資する評価指標と計測手法の開発（令和７～９年度、研究代表：上席研究員 三浦尚志)」を開始し、住宅・小規模非住宅建築物における室内環境の良さを生活者が理解しやすい形で示す評価指標の構築を目指しています。本シンポジウムはその第一歩として、専門家・実務者・研究者が横断的に意見交換し、「誰もが使える・分かる室内環境の新しいものさし」の検討を進める場として開催します。

２．開催概要

日　時：令和８年１月 30 日（金）17 時 00 分～19 時 00 分（16 時 50 分開場予定）
会　場：オンライン（ZOOM ウェビナー）
参加費：無料
主　催：国立研究開発法人 建築研究所 環境研究グループ
申込方法：以下 URL より事前にお申込みください。当日ご参加いただけない方には、録画の限定配信を予定しています。
https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_LPf66c_1ROuozEHDUYJTug

３．プログラム

17:00～17:15 開会・主旨説明　三浦尚志（国立研究開発法人 建築研究所）
「本シンポジウム開催の狙いと参加者への室内環境指標に対するご意見のお願い」

17:15～17:35 **鈴木大隆氏（地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 理事）**
「建築外皮技術がもたらす室内環境の質の向上をどう表すか」

17:35～17:55 **前真之氏（東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻 准教授）**
「GX時代の住宅室内環境指標の考え方」

17:55～18:05 第1回シンポジウムの振り返り　熊倉永子（国立研究開発法人 建築研究所）

18:05～19:00 パネルディスカッション
鈴木大隆氏・前真之氏・三浦尚志（進行）

４．今後の展開

本研究課題では、来年度も引き続き意見交換会を予定しています。シンポジウムで寄せられたご意見は、今後の研究および指標の具体化の重要な参考情報として活用していきます。

【お問い合わせ先】
国立研究開発法人 建築研究所
（内容について）
所属　　環境研究グループ
氏名　　三浦尚志・熊倉永子
電話　029-864-6670（直通）
E-mail e-kumakura@kenken.go.jp

（建研公式Ｘについて）
新着情報や研究等の取り組みに関する情報を発信しております。ご興味がありましたら、フォローお願いいたします。
https://x.com/kenken_BRI